



出動！上野目安全パトロール隊(岩出山)

1月13日、地区内の安全な生活環境の実現と、犯罪や交通事故を未然に防止することを目的に「上野目冬季安全パトロール隊事業」が行われました。

この日はあいにくの猛吹雪となってしまいましたが、そろいの緑色のジャンパーに身を包んだ上野目地区民50人が、パトカーを先頭に、のほり旗を立てた軽トラックや乗用車に乗り込み、地区内はもちろん池月地区の「あ・ら・伊達な道の駅」や岩出山地区へも足を伸ばして交通安全と防犯を広く呼びかけました。



年の初めに健康を祈願して(松山)

1月1日、今年で42回目を迎える松山地域の元旦の恒例行事「元旦マラソン&ウォーキング大会」が開催され、地域の人はもとより、近隣の町や仙台市などから約180人が参加しました。

厳しい冷え込みの中、1.2kmと4.2kmのマラソンと1.5kmのウォーキングの3コースに分かれてスタート。記録に挑戦する人、一年の健康を祈願して参加する人、家族そろってゆっくり完走を目指す人など、参加者の皆さんは目的に合わせて気持ちよい汗を流しました。

1月15日、鳴子温泉神社で、「温泉神社精進講」が行われました。

この行事は、旧暦の12月8日に神様に一年の無事を感謝し、神様がゆっくり温泉に入って疲れをいやしていただけるように、その間、氏子、総代たちが神社を守っていたことが始まりとされています。

精進講の料理は、とろろ芋を使った「とろろ酒」と「とろろご飯」が出されることが特徴で、参加者はとろろ料理を味わいながら今年の無病息災を願っていました。

神様に感謝を込めて(鳴子温泉)



とろろ芋は、昔から滋養強壮の名薬として知られています

1月7日、鹿島台保健センターで鹿島台中学校2年の生徒32人を対象に、「ヘルスサポーター21講習会」が開催されました。

この講習会は、規則正しい食生活を身につけてもらおうと食生活改善推進員連絡協議会鹿島台会が毎年開催しているもので、今年で7回目を迎えます。推進員の皆さんは、自分の体格に合った食事の取り方や朝食の大切さを生徒に講義し、その後、生徒と一緒に調理実習を行ってバランスよく栄養を取ることの大切さを指導しました。

食生活の大切さを学ぶ(鹿島台)



料理を楽しみながら健康について勉強しました



輝く未来へ向かって(三本木ほか)

1月13日、夏に成人式を終えた鳴子温泉地域を除く市内6地域で「大崎市成人式」が開催されました。

今年度市内で20歳を迎える人は1,425人(10月1日現在で男699人、女726人)。式に参加した新成人の皆さんは、スーツや晴れ着姿で会場を訪れ、久しぶりに会う友達との再会を喜んだり写真を撮るなどして楽しい時間を過ごしました。各地域では、新成人による実行委員会が考えた趣向を凝らしたイベントや交流パーティーなども行われ、一生に一度の特別な日を盛り上げました。



雪が舞う夜の厳粛な行列(田尻)

1月14日、雪の舞う夜、さらし姿の行列が田尻地域を練り歩きます。田尻地域どんと祭の裸参りの行列です。

裸参りは毎年行われ、一年の無病息災・家内安全・商売繁盛を祈願し、商工会、スポーツ少年団、市職員など約40人が田尻総合支所からどんと祭会場の田尻総合体育館グラウンドまで寒さに耐え、凛とした姿で練り歩きました。

行進後は、どんと祭会場でもちまきが行列、訪れた多くの人たちは福にあやかろうと競い合うように飛んでくるもちに飛びついていました。



乾杯！輝く一年が始まりました

大崎市の進むべき方向は？ おおさき宝大使 月路奏さん

おおさきブランド戦略会議・大崎市新年祝賀会 一年の始まりに決意も新たに(古川)

1月4日、市、商工会議所、JA主催による新年祝賀会が開催され、約350人が出席し平成20年の幕開けを祝いました。市長が主催者を代表してあいさつし、「今年は合併から3年目、市の不動の基盤を築くための大切な年。デスティネーションキャンペーンも本番を迎え多くの観光客が市を訪れます。定住にもつなげていきたい。」などと新年の抱負を話しました。

鏡開きの後、乾杯で新年を祝して懇親。ステージでは、おおさき宝大使の月路奏(かなで)さん(歌手・元宝塚歌劇団、古川地域出身)が歌声を披露。聞く人の心に響く美しい歌声で、新年の幕開けに華を添えました。

また、祝賀会に先立ち「おおさきブランド戦略会議(飛翔会議)新春講演会」が開催され、宮城大学国際センター准教授で松山地域在住の あん・まくどなると さんが「外国人から見た大崎市への提言」、宮城大学事業構想学部教授の大泉一貫さんが「グローバルな視点から見た大崎市の将来」と題して講演。一年の始まりに、大崎市の進むべき方向を考える有意義な時間となりました。